



日南海岸サイクルツーリズム協議会(第9回) 令和8年度 協議会資料

- | | |
|--|-------|
| 1. 日南海岸サイクルツーリズム協議会のこれまでの検討経緯・成果 | P. 1 |
| 2. 日南海岸地域をとりまく変化 | P. 10 |
| 3. 今後の検討方針・協議会のあり方<第1号議案> | P. 17 |

令和8年5月26日

1. 日南海岸サイクルツーリズム協議会のこれまでの検討経緯・成果

1-1. 日南海岸サイクルツーリズム協議会の概要

- 日南海岸サイクルツーリズム協議会は、日南海岸が有する多様な地域資源やサイクルツーリズムの機運の高まり、並行する東九州自動車道の開通等を背景に、宮崎市・日南市・串間市におけるサイクルツーリズムを契機とした賑わい創出を目的として設立した。

日南海岸が有する多様な地域資源

① 南国宮崎を象徴する自然豊かな景観資源

- 優れた自然景勝地（堀切峠、都井岬）、国の天然記念物（青島、御崎馬）等、自然豊かな景観資源を有する
- 日南海岸きらめきラインとして日本風景街道に登録

② 神話をはじめとした歴史文化が醸成した個性的な観光資源

- 歴史文化施設（青島神社、鵜戸神宮等）、歴史的魅力の高い施設（飫肥城跡周辺等）が点在

青島神社



写真：宮崎市観光協会HP

鵜戸神宮



写真：みやざき観光ナビHP

サイクルツーリズムの機運の高まり

① サイクルツーリズムの全国的な展開

- サイクリングと観光を結び付けた新たな地域振興の取組（しまなみ海道等）
- 世界に誇りうるサイクリングルートについて国内外へPRを図るため、第一次ナショナルサイクルートを指定（R1.11指定しまなみ海道、ピワイチ、つくば霞ヶ浦りんりんロード）

② 日南海岸におけるサイクリング利用拡大の兆し

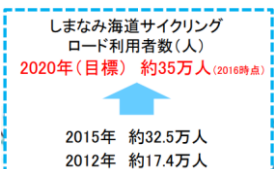
- 日南海岸でのサイクリングイベントの開催
- サイクルトレイン社会実験等の利便性向上の取組

宮崎・日南海岸ライド大会



写真：GREAT EARTH HP

しまなみ海道利用者数



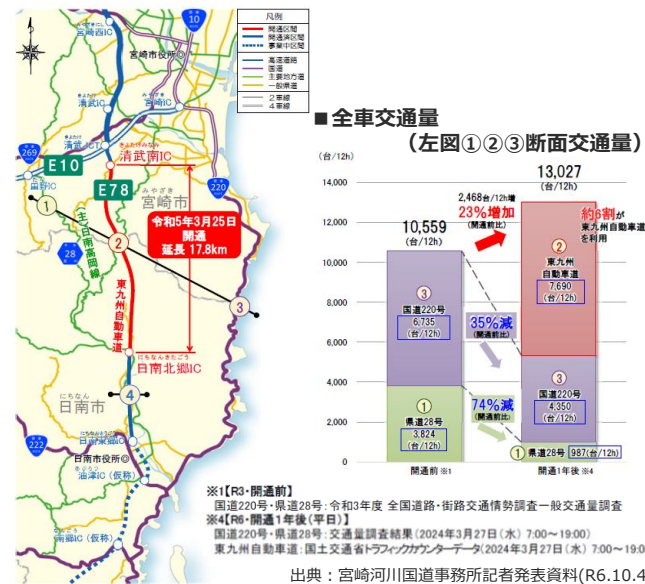
出典：ナショナルサイクルルート制度検討小委員会資料

東九州自動車道の開通

① 東九州道開通による国道220号の交通量減少

- 東九州自動車道（清武南IC～日南北郷IC）が令和5年3月25日に開通し、国道220号の交通量は減少傾向

東九州自動車道の開通（令和5年3月25日開通）



日南海岸サイクルツーリズムによる賑わいの創出を目的とし、『日南海岸サイクルツーリズム協議会』を設立

目指すべき将来像

1 自転車通行空間の整備とサポート環境の充実(魅力あるサイクリングロードのある地域)

2 サイクリストの増加による新たな需要拡大

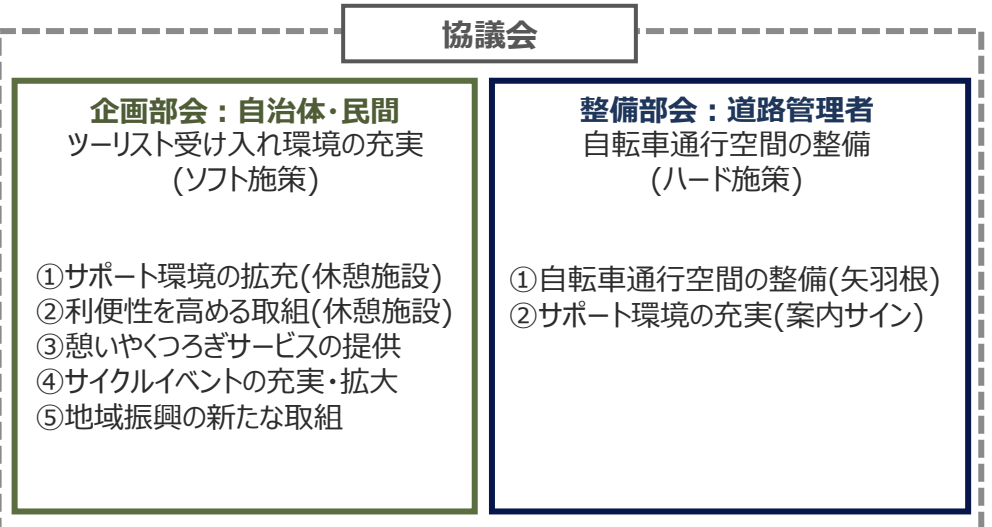
3 魅力再発見による新たな観光スタイル創出(何度も訪れたくなる魅力ある地域)

1-1. 日南海岸サイクルツーリズム協議会の概要

- 平成27年度より日南海岸サイクルツーリズムの利便性向上、賑わい創出を目的に「日南海岸サイクルツーリズム協議会」を開催しており、企画部会・整備部会を設置してソフトとハード両面から取り組みを進めている。

日南海岸サイクルツーリズム協議会の組織構成、 取り組みの実施主体 (平成27年度～)

協議会には、作業部会として**企画部会**、**整備部会**を設立し、イベント企画や施設整備の実施により、自転車愛好家や観光客の増加、自転車の利便性向上、さらに地域交流による賑わいの創出を図るための**ソフトとハード両面から取り組みを進めている**。



宮崎市、日南市、串間市、宮崎県
 国土交通省 九州地方整備局 宮崎河川国道事務所
 宮崎大学
 日南海岸地域シーニックバイウェイ推進協議会
 道の駅なんごう、道の駅フェニックス、道の駅くしま
 ひなた自転車協会
 宮崎市サイクリング協会、日南市サイクリング協会、串間市サイクリング協会
 宮崎商工会議所、日南商工会議所、串間商工会議所
 宮崎市観光協会、日南市観光協会、串間市観光物産協会
 宮崎県警察本部

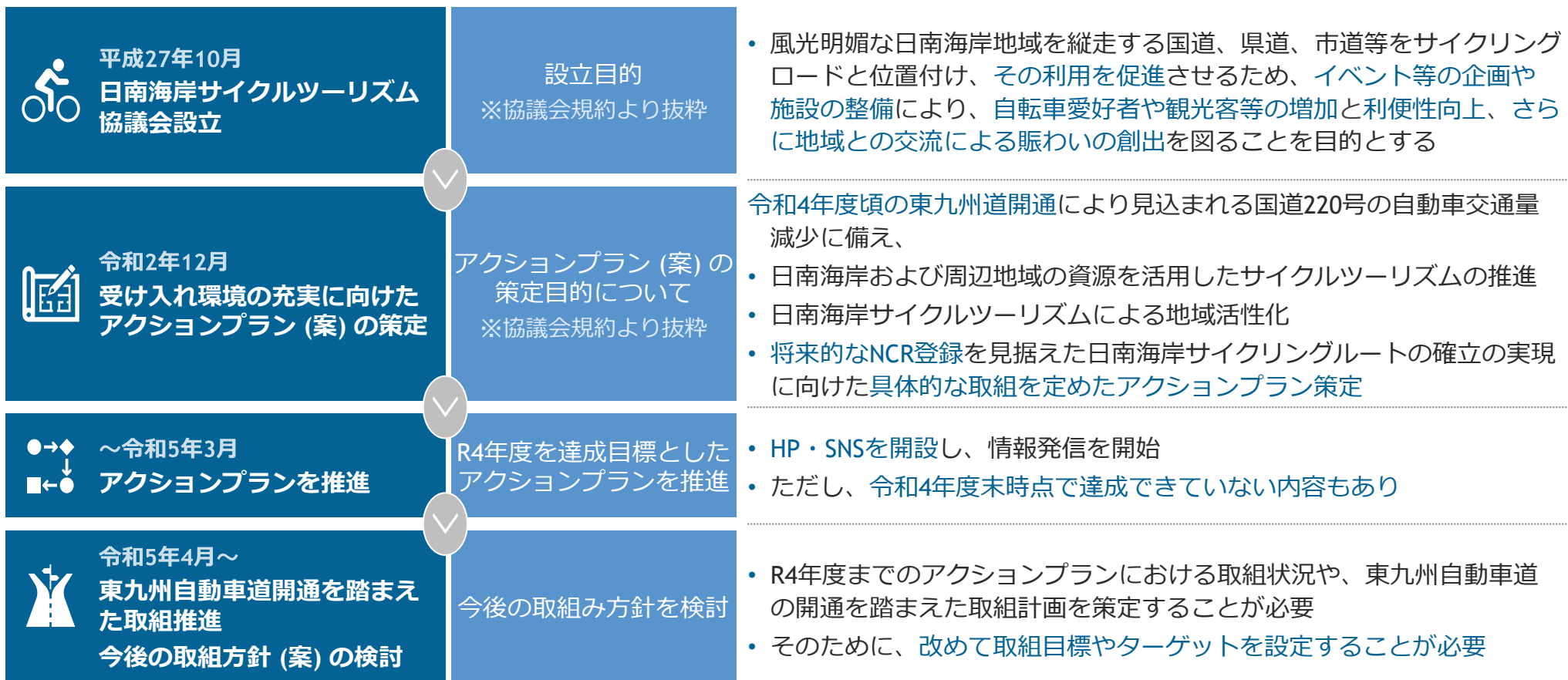
日南海岸サイクルツーリズム協議会の開催経緯

- これまでに下記内容を議論
 - 企画部会：サイクリングルートの検討、アクションプランの作成
 - 整備部会：自転車通行空間整備・案内サインの考え方
 - 協議会：日南海岸サイクルツーリズム構想(案)

年度	開催日	協議会内容
H27年度	H27年10月30日	第1回日南海岸サイクルツーリズム協議会
	H28年1月15日	第1回日南海岸サイクルツーリズム協議会 企画部会
	H28年2月1日	第1回日南海岸サイクルツーリズム協議会 整備部会
	H28年2月23日	第2回日南海岸サイクルツーリズム協議会
H28年度	H28年11月6日	社会実験(H29年3月30日まで)
	H28年11月22日	第2回日南海岸サイクルツーリズム協議会 企画部会
	H29年1月17日	第3回日南海岸サイクルツーリズム協議会 企画部会
	H29年2月17日	第2回日南海岸サイクルツーリズム協議会 整備部会
H29年度	H29年3月22日	第3回日南海岸サイクルツーリズム協議会
	H29年12月22日	第4回日南海岸サイクルツーリズム協議会 企画部会
	H30年1月23日	第3回日南海岸サイクルツーリズム協議会 整備部会
H30年度	H30年3月26日	第4回日南海岸サイクルツーリズム協議会
	H30年9月21日	第5回日南海岸サイクルツーリズム協議会 企画部会
	H31年1月29日	第4回日南海岸サイクルツーリズム協議会 整備部会
H31年度	H31年3月20日	第6回日南海岸サイクルツーリズム協議会 企画部会
	R元年7月8日	第5回日南海岸サイクルツーリズム協議会
R1年度	R2年2月25日	第7回日南海岸サイクルツーリズム協議会 企画部会
	R2年11月16日	第8回日南海岸サイクルツーリズム協議会 企画部会
R2年度	R2年11月25日	第5回日南海岸サイクルツーリズム協議会 整備部会
	R2年12月23日	第6回日南海岸サイクルツーリズム協議会
R3年度	R3年8月31日	第9回日南海岸サイクルツーリズム協議会 企画部会
	R3年9月2日	第6回日南海岸サイクルツーリズム協議会 整備部会
R4年度	R3年9月28日～10月7日	第7回日南海岸サイクルツーリズム協議会 ※書面開催
	R4年9月1日	令和4年度日南海岸サイクルツーリズム協議会 企画部会・整備部会
R5年度	R4年10月11日	第8回日南海岸サイクルツーリズム協議会
	R5年5月12日	令和5年度日南海岸サイクルツーリズム協議会 事務局会議(第1回)
R6年度	R6年3月19日	令和5年度日南海岸サイクルツーリズム協議会 事務局会議(第2回)
	R7年3月19日	令和6年度日南海岸サイクルツーリズム協議会 事務局会議
R7年度	R8年2月16日	第1回日南海岸地域の道路管理検討協議会

1-2. これまでの検討経緯・成果

- 令和4年度末（令和5年3月）までのアクションプランが概ね完了し、令和5年度からは、これまでの取組成果・検討経緯を踏まえ、**今後の取組方針（案）を検討し、活動を立て直すフェーズ**となっている。



- ✓ 『日南海岸サイクルツーリズム協議会』の日南海岸サイクルツーリズムによる賑わいの創出を目的とした取組みとして、**令和4年度末（令和5年3月）までのアクションプランが概ね完了**
- ✓ 今後の取組み方針を検討し、サイクルツーリズムに関連する**活動の見直し**が求められる

1-3. サイクルツーリズムに係るこれまでの取り組み

- 平成27年度の協議会設立以降、サイクリングルート設定、マップ作成・配布、自転車通行空間やルート案内サインの整備方針の検討、試行区間での整備・効果検証を実施してきた。
- 令和3年度以降は、東九州自動車道(清武南IC～日南北郷IC)の開通に向けて、令和5年度までのアクションプランを基に受入環境の充実、サイクリングルートの整備等の各取り組みを推進し、概ね完了している状況にある。

■これまでの取り組み

令和4年までのアクションプランについては概ね完了◎

取り組み内容	検討部会	実施主体	H27～R2	R3～R4
日南海岸サイクリングルートの設定			・サイクリングルートの設定	
①日南海岸の実情に応じた自転車通行空間の整備 ・連続的な矢羽根設置(コース、主要地までの距離等を明示)	整備部会	道路管理者	・自転車通行空間の整備方針 ・試行区間の整備・効果検証	・改善策の検証 ・自転車通行空間の整備(矢羽根) ・自転車通行空間の整備(道路空間の再配分)
②サイクリストのサポート環境の拡充 ・ルート案内サインの設置(右左折部、観光施設、道路勾配等) ・休憩施設の充実(サイクルスタンド、修理工具等の充実)	整備部会	道路管理者	・ルート案内サインの整備方針 ・ルート案内サインの効果検証	・改善策の検証
	企画部会	自治体・民間		・休憩施設の充実
③サイクリストの利便性を高める取組 ・サイクルマップ作成 ・利用者にわかりやすい情報発信(HP等) ・公共交通との連携強化 ・利用者が立ち寄りやすい宿泊施設サービス開始 ・レンタサイクルサービス	企画部会	自治体・民間	・ルートの試走 ・サイクリングルートの名称検討 ・サイクルマップの作成・配布	・サイクルマップの配布・更新 ・サイクリングルート・休憩施設等の情報発信 ・公共交通との連携強化 ・宿泊施設サービスの充実 ・レンタサイクルサービス
				・休憩施設・宿泊施設等の情報発信 ・道の駅等との連携強化 ・外国人客等の受入環境の充実・拡大
④地域交流による憩いやくつろぎサービスの提供 ・飲食店、温泉施設、宿泊施設等の情報提供 ・道の駅、港の駅等と連携した取組み ・外国人客が宿泊可能な環境の整備推進	企画部会	自治体・民間		
⑤サイクルイベントの充実・拡大による交流の促進 ・走行会、散走イベント、ツール・ド・南みやざき、グレートアース宮崎・日南海岸ライドなどのサイクルイベントの開催	企画部会	自治体・民間	・サイクルイベントの充実・拡大	・サイクルイベントの充実・拡大
⑥サイクルツーリズムの普及・拡大を通じた地域振興の新たな取組 ・サイクルツアーガイドの育成 ・観光協会や観光施設等との連携企画 ・旅行会社とのコラボ企画(パックツアー企画) ・地元(関連団体・店舗・施設等)との連携	企画部会	自治体・民間		・サイクルツアーガイド育成 ・連携企画の充実・拡大

東九州道(清武南IC～日南北郷IC)の開通(R4年度)

1-3. サイクルツーリズムに係るこれまでの取り組み

① 日南海岸の実情に応じた自転車通行空間の整備

- ・矢羽根を整備（日南海岸サイクリングルートにおいて概ね完了）
- ・山間部（カーブ箇所）において**安全対策**を実施

No.	エリア	サイクリングルート
①	宮崎エリア	宮崎駅等～いるか岬南下ルート
②	日南エリア1	いるか岬～油津ルート
③	日南エリア2	油津駅・油津港～道の駅酒谷ルート
④	日南エリア3	飯肥駅～推八重溪谷ルート
⑤	日南エリア4	油津駅・油津港～夫婦浦パーキングルート
⑥	串間エリア1	串間駅～道の駅なんごうルート
⑦	串間エリア2	都井岬発着周遊ルート
⑧	串間エリア3	日向北方駅発着周遊ルート
⑨	串間エリア4	串間駅発着周遊ルート
⑩	日南・串間エリア	恋人ロードルート

【総延長：約250km】

青島・堀切峠、日南隧道周辺、都井岬周辺などで矢羽根・案内サインを整備済

▲日南海岸サイクリングルート（10ルート）

② サイクリストのサポート環境の拡充

- ・ルート案内サインを整備（交差点や分岐等において概ね完了）
- ・休憩施設を整備し、休憩機能の必須要件満足
- ・道の駅において**サイクルラック**、**空気入れ**等を設置

ヤシの木など南国らしいデザインのマークを設定

サイクリングマップや案内サイン（距離標）に活用

▲自転車マーク（日南海岸サイクリングルート）

サイクルラック

空気入れ

工具

▲道の駅酒谷

▲日南駅

1-3. サイクルツーリズムに係るこれまでの取り組み

③サイクリストの利便性を高める取組

- ・日南海岸地域全体を対象とした**サイクルマップ**を作成
- ・**HP等**での情報発信を実施（**ひなたサイクルHP**で情報公開しているが改良の余地あり）
- ・公共交通との連携：NCR要件の1つ「**多様な交通手段に対応したゲートウェイ（宮崎空港・宮崎駅）整備**」達成のため必要な12項目のうち、**11項目を達成**（空港における物品販売以外）
- ・宿泊サービスは、**宿泊機能の必須要件（約60km間隔）満足**
- ・**シェアサイクル・レンタサイクル**を導入（アシスト自転車も活用）

■ サイクルマップ



▲日南海岸サイクリングルートマップ

■ HP等での情報発信

TABIRIN(月間閲覧数最大100万PV)を活用した情報発信

わかりやすいサイクルルート紹介

取組み内容の定期的な更新

サイクリスト向け観光情報の提供

ひなたサイクルHP

▲ひなたサイクルHP

■ 公共交通との連携

ゲートウェイ（宮崎空港、宮崎駅）における機能整備状況

NCR要件	宮崎空港	宮崎駅
レンタサイクル・シェアサイクル	(配送サービスあり)	○
必要な物品の購入	(配達サービスはあり)	(近隣にサイクル関連の商品を扱っている店舗あり)
手荷物用のロッカー	○	○
着替えスペース	(トイレ)	(トイレ)
必要な工具の貸出	○	○

■ 宿泊サービス

宿泊機能の必須要件（約60km間隔）満足



▲ルート沿線の宿泊施設

■ レンタサイクル

総合案内：日南市観光協会

貸出場所：日南市観光案内所、おび天「蔵」、JR鉄肥駅、JR日南駅、JR油津駅、JR南郷駅

料金：普通車 ¥500/日
e-Bike ¥2,000/日

手荷物預かり：¥500/個
JR鉄肥駅、JR日南駅、JR油津駅、JR南郷駅



▲日南市内レンタサイクル案内
出典：日南市観光協会HP

貸出場所 都農駅 貸出時間 9:00～17:00

電動自転車利用料金	半日プラン4時間 ¥1100	1日プラン8時間 ¥2000	延長料金 30分 ¥500
-----------	----------------	----------------	---------------

▲電動アシスト付レンタサイクル（都農町観光協会）

1-3. サイクルツーリズムに係るこれまでの取り組み

④ 地域交流による憩いやくつろぎサービスの提供

- ・飲食店・宿泊施設等での情報提供：**みちくさフリーペーパー**で情報提供
- ・道の駅、港の駅で**おもてなしサービス**実施
- ・**外国人向け宿泊サービス**を実施（外国人客が宿泊可能な環境整備）
- ・観光ルートの提案（日南サイクリングルート等）
- ・サイクリングマップ「ツール・ド・ミヤザキ」の周知

■ 情報提供



出典：旅の情報誌「みちくさ」
平成29年2月号

■ 観光ルート提案



▲宮崎・日南・串間ルート

■ おもてなしサービス

道の駅、港の駅等と連携して整備

- サイクルチューブ 5本
- タイヤレバー 3セット
- 携帯空気入れ 3個



出典) サイクルベースあさひ通販サイト

■ 「ツール・ド・ミヤザキ」の周知

主な配布場所：日南市、串間市、綾町、西都市、宮崎市役所、宮崎県庁、宮崎市観光案内所（宮崎駅）、宿泊施設など



▲サイクリングマップ「ツール・ド・ミヤザキ」

出典：宮崎市HP

⑤ サイクルイベントの充実・拡大による交流の促進

- ・「**ツール・ド・南みやざき**」のイベント開催支援
- ・「**グレートアース宮崎**」のイベント開催支援
- ・串間市において2027年開催の国スポに向け、**自転車競技のロードレース会場の整備**を促進（THE ROAD RACE TOKYO）

■ イベント開催支援

▲「ツール・ド・南みやざき」2022

出典：串間市サイクリング協会HP



▲「GREAT EARTH」

出典：GREAT EARTH HP

■ ロードレース会場の整備



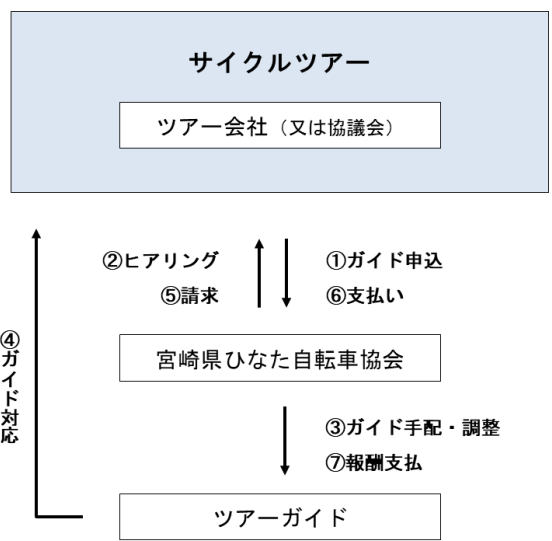
▲2027年国スポ 自転車ロードレースコース

1-3. サイクルツーリズムに係るこれまでの取り組み

⑥ サイクルツーリズムの普及・拡大を通じた地域振興の新たな取組

- ・サイクルツアーガイドの育成、支援
- ・観光協会や観光施設等との連携企画：レンタサイクル、シェアサイクル連携
- ・旅行会社とのコラボ企画を実施：サイクルロゲイニング
- ・地元（関連団体・店舗・施設等）との連携を実施：地元イベント開催
- ・シェアサイクル普及促進事業を展開

■ サイクルツアーガイドの育成、支援



▲ ツアーガイドの流れ（案）

レンタサイクルの情報発信 ▶
出典：日南市観光協会HP

■ 観光施設との連携



サイクリングを楽しんでみませんか？
様々な魅力に包まれた 日南海岸や鉄肥城周辺では、四季折々の花々に囲まれながら、一年中 サイクリングを楽しむことができます。
宮崎県内の「サイクリングモデルコース」「サイクルスタンド設置場所」「レンタサイクル」などの詳しい情報は ⇒ [こちらから](#)
【日南市内レンタサイクルのご案内】

貸出場所	貸出可能時間	問い合わせ先
おび天童	平日 9:30~17:00 休日 9:30~17:00	0987-25-5717
日南市観光案内所	平日 9:00~17:00 休日 9:00~17:00	
JR鉄肥駅	平日 7:00~17:30 休日 7:00~17:30	
JR日南駅	平日 8:30~17:15 休日 11:00~16:00	0987-31-1134 日南市観光協会
JR油津駅	平日 8:30~17:15 休日 11:00~16:00	
JR高瀬駅	平日 8:30~17:15 休日 11:00~16:00	

※休日 土曜・日曜・祝日
【料金】
普通車 1日 500円
※ヘルメットの無料レンタルあります。
e-Bike 1日 2,000円
※日南市観光案内所のみ取り扱い
日南市園田2丁目1番1号 日南市テクノセンター1階

■ イベント開催

Press Release



ツール・ド・九州2026宮崎ステージの開催地が決定しました！

ツール・ド・九州2026宮崎ステージが「宮崎市、日南市」において開催されることが決定しましたので、お知らせします。宮崎県は、昨年の2025大会に大分県との共同開催で初参加し、2026大会は初めての単独開催になります。なお、コース詳細やスタート・フィニッシュ地点等については、調整中です。

1. 日程等

以下、ツール・ド・九州2026大会日程等になります。

大会名	日程	開催県
ツール・ド・九州クリテリウム	2026年10月9日（金曜日）	長崎県（佐世保市）
ツール・ド・九州	2026年10月10日（土曜日）	福岡県・佐賀県
	2026年10月11日（日曜日）	熊本県・大分県
	2026年10月12日（月曜日・祝日）	宮崎県

▲ ツール・ド・九州2026 宮崎ステージ

出典：宮崎市HP

■ シェアサイクル普及促進事業



対象者 シェアリングサービス事業者

補助内容 ①デジタル割引クーポン②サイクルポート設置費用の1/2③新規車両購入費用の1/2④広告宣伝費用の1/2

出典：宮崎市HP

2. 日南海岸地域をとりまく変化

2-1. 道路開通で誕生するバイウェイ区間※の現状

※国道220号の道路整備により、直轄国道管理区間から移管された旧道区間



繁茂する沿道雑草

伊比井潮風トンネルバイウェイ区間



歩道の通行は困難

伊比井潮風トンネルバイウェイ区間



自転車通行を阻害する雑草

伊比井潮風トンネルバイウェイ区間



通行止め

日南富士トンネルバイウェイ区間



繁茂する歩道の雑草

日南富士トンネルバイウェイ区間



車道を阻害する沿道雑草

宮浦トンネルバイウェイ区間

2-2. 日南海岸バイウェイあり方勉強会(令和3年～令和5年)

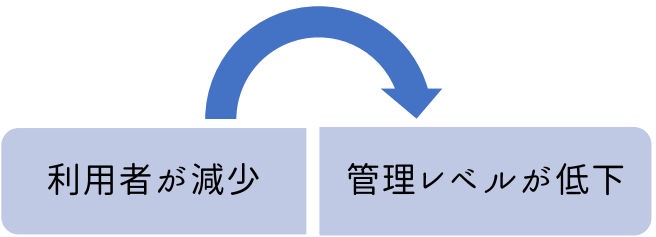
勉強会立ち上げ 目的

日南海岸地域における、国道、県道、市道など関連道路連携や道路新設に伴う旧道区間のあり方など、新たな道路の価値創造を図るべく、道路利活用策や持続的な道路管理体制等について、情報共有・協議することを目的とする。



バイウェイ区間の課題

利用ニーズ不明や管理対応優先度が低下



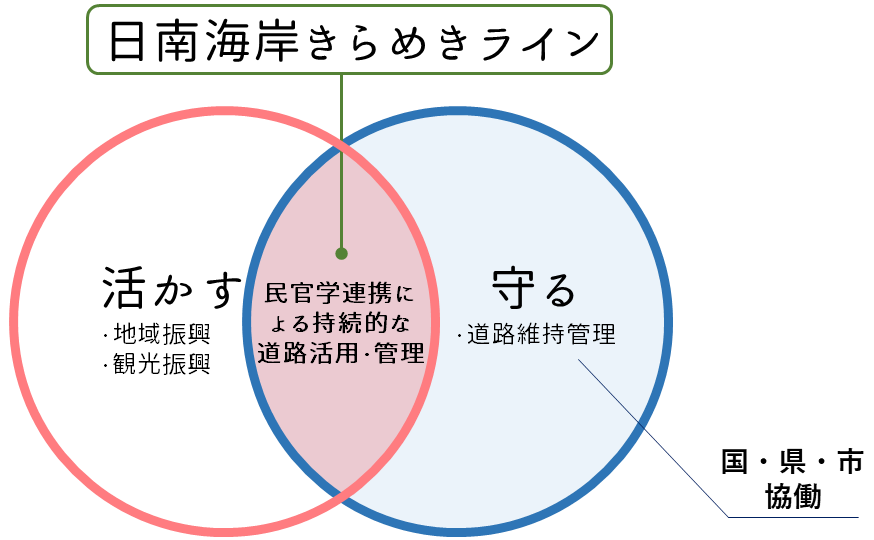
伊比井潮風トンネルバイウェイ区間

道路の魅力が低下
走りにくい、危険が多い



宮浦トンネルバイウェイ区間

今後の方向性



- 1 : 「活かす」と「守る」を官民学連携で推進する
※行政と道路協力団体との協働のあり方の検討
- 2 : 道路管理者が一体的に「守る」体制を構築する
※維持管理体制や管理水準のあり方の検討、災害発生時の対応など

2-2. 日南海岸バイウェイあり方勉強会(令和3年～令和5年)

R 3.3 第11回 日本風景街道大学 (R 3.6 補講)



「日南海岸のバイウェイ活用可能性」について議論をスタート！
R3.6の補講を受け
「第1回日南海岸地域のバイウェイあり方勉強会」開催

※バイウェイ：国道220号の道路整備により、直轄国道管理区間から移管された旧道区間

R 3.12 第1回勉強会 開催

① 課題認識の共有



主なご意見

- 利用者が減少するバイウェイを限られた予算でどう管理するか
- これまでのサイクルツーリズムに加え、日南海岸の魅力を活かす取り組みを！
- 未来のバイウェイが担う役割、管理目的を明確化する

R 4.1 第12回 日本風景街道大学


バイウェイの活用について議論
第1回勉強会内容を発表



R 4.3 第2回勉強会開催


② 学習・意見交換

- 勉強会は「活かす」と「守る」の2つの視点から実施
- バイウェイの活かし方紹介
- 話題提供；小椋祥司氏
～日南海岸地域の魅力（資源）を生かして～




R 4.8 第3回勉強会開催

- 特別講話：筑波大学 石田先生
- グループワーク
～バイウェイ（いるか岬）の活用～



③ 意見とりまとめ



新しいアクティビティ場所としているか岬を活かす（サイクリストやライダー、釣り人など）

いるか岬に立ち寄りてもらうための利用環境と道路空間を整備

R 4.11 第4回勉強会開催

- 特別講話：筑波大学 石田先生
- 全3回の勉強会を受けてバイウェイの活かし方（案）のとりまとめ
- 終了後にアンケート調査実施




④ 活用方策検討

R 5.1 第13回 日本風景街道大学

- バイウェイの活用を継続議論
第4回までの勉強会内容を発表

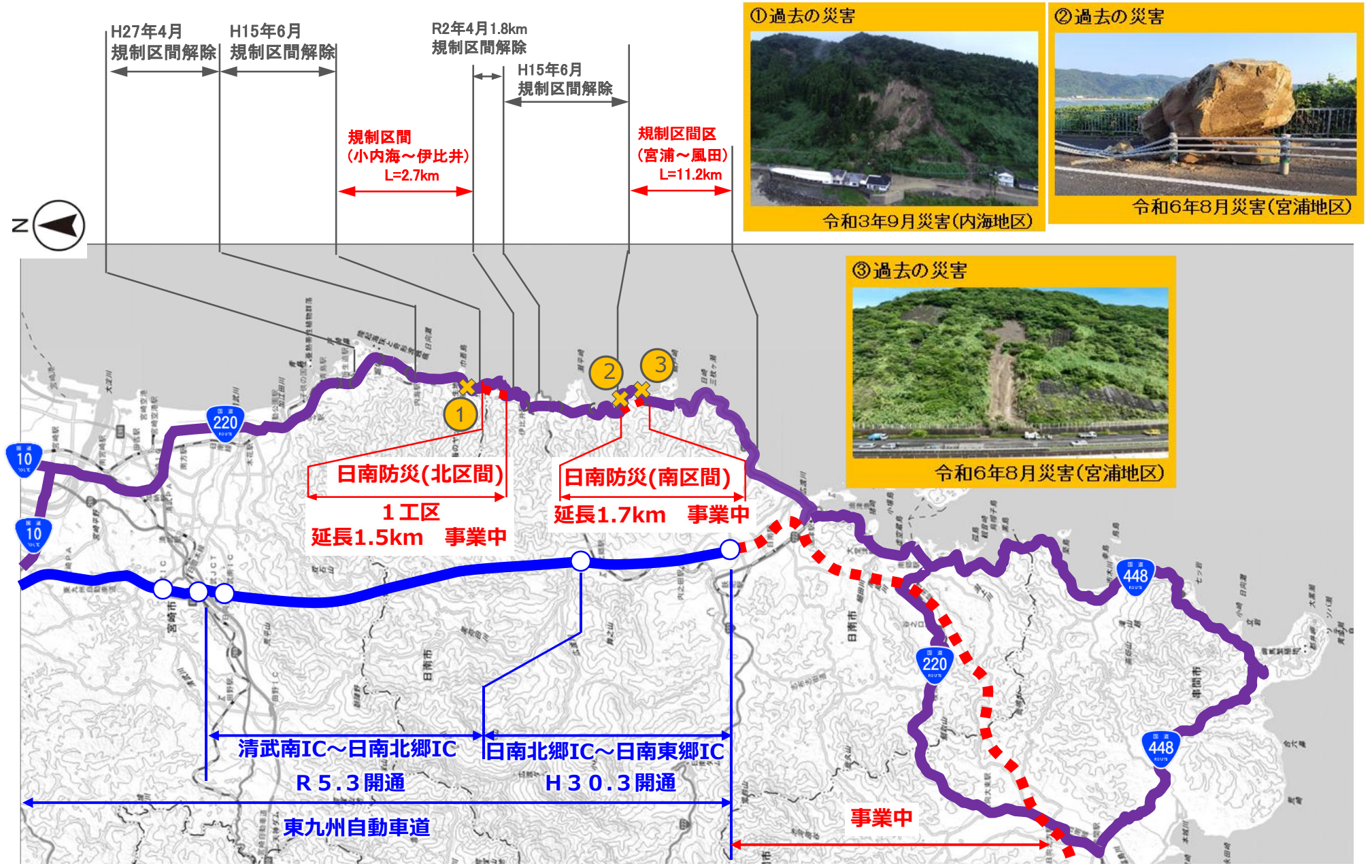


R 5.3 第5回勉強会開催

⑤ 今後の方針

バイウェイの活用・管理において密接関連道路制度活用の可能性を検証することを確認。⇒協議会設立・関係者間の調整のハードルが高いことなどから途中段階で活用検討は停滞。

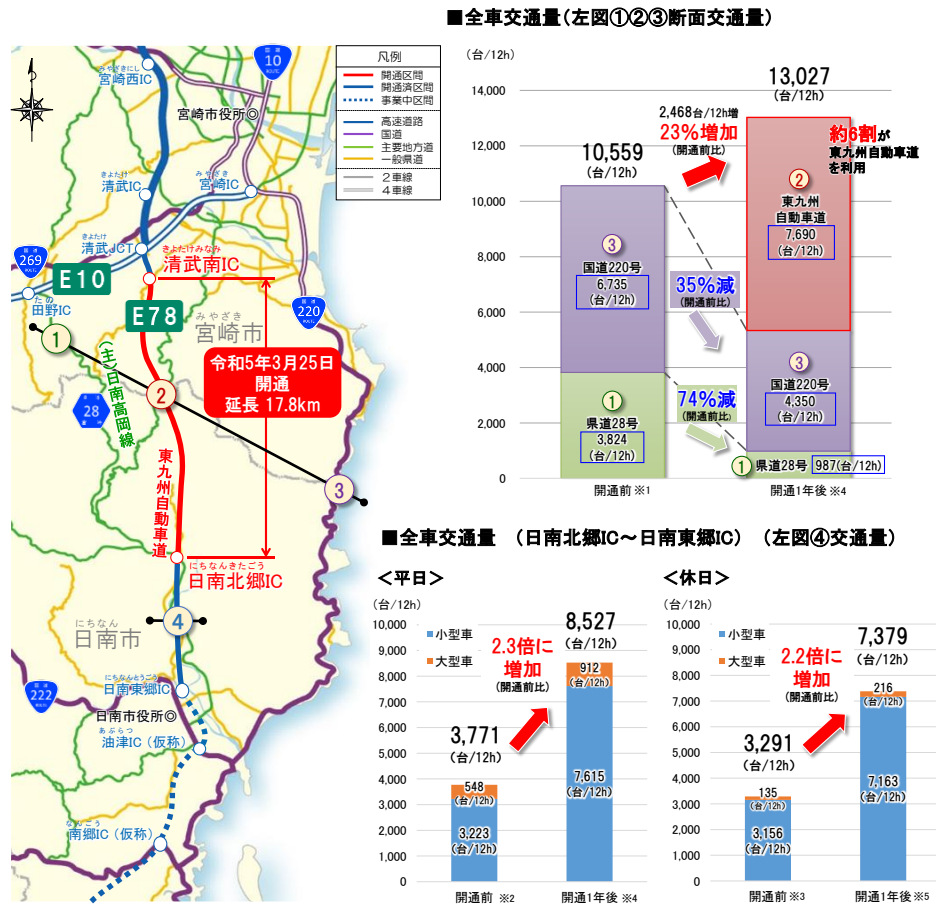
2-3. 日南海岸沿線の道路整備



2-4. 東九州道整備による日南海岸地域における交通変化など

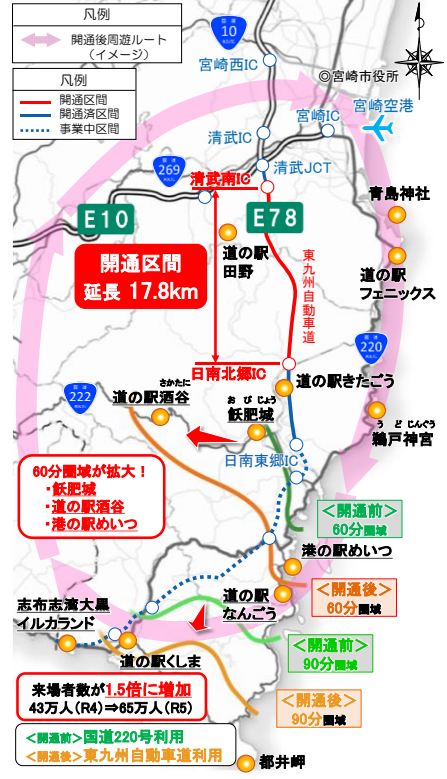
- 東九州自動車道開通により平日・休日ともに交通量が増加している。
- 宮崎市・日南市を結ぶ東九州自動車道と国道220号を利用した周遊が可能となり、宮崎県南地域の観光産業の活性化が加速している。

■ 道路交通状況の変化(宮崎市方向と日南市方向の南北を往来する交通量)



※1[R3-開通前] 国道220号・県道28号・令和3年度 全国道路・街路交通情勢調査一般交通量調査
 ※2[R3-開通前(平日)] 東九州自動車道・国土交通省トラフィックセンターデータ(2023年3月14日(火) 7:00～19:00)
 ※3[R3-開通前(休日)] 東九州自動車道・国土交通省トラフィックセンターデータ(2023年3月12日(日) 7:00～19:00)
 ※4[R5-開通1年後(平日)] 国道220号・県道28号・交通量調査結果(2024年3月27日(水) 7:00～19:00)
 ※5[R5-開通1年後(休日)] 東九州自動車道・国土交通省トラフィックセンターデータ(2024年3月24日(日) 7:00～19:00)

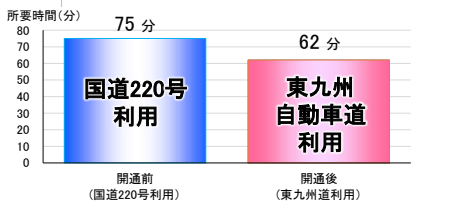
■ 県南地域の主要観光地アクセス



【観光バス関係者のコメント】

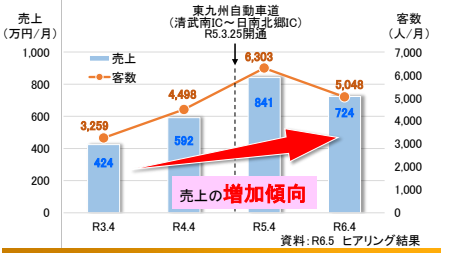
- 東九州自動車道の開通により、観光地の滞在箇所・滞在時間の増加につながっている。
- 往復で異なるルート選定が可能になり、お客様満足度が向上。

■ 宮崎市⇄道の駅なんごうの所要時間変化

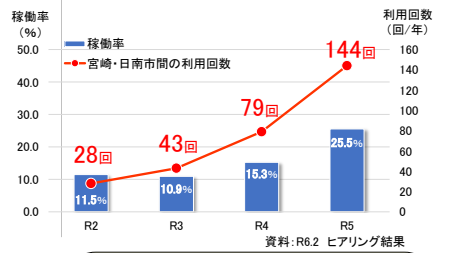


資料:ETC2.0プローブデータ(宮崎市役所⇄道の駅なんごう) 【開通前】R5.2(休日)24h 【開通後】R6.2(休日)24h

■ 道の駅なんごう売り上げの変化



■ 観光バス会社の便数増加



【日南市 観光関係者のコメント】

- 通勤などの日常生活での移動が東九州自動車道に移ったことで、観光施設のある国道220号も走りやすくなった。
- コロナ禍も収束し、観光客が戻ってきている。東九州自動車道と国道220号を組み合わせた周遊コースができてきていると感じている。

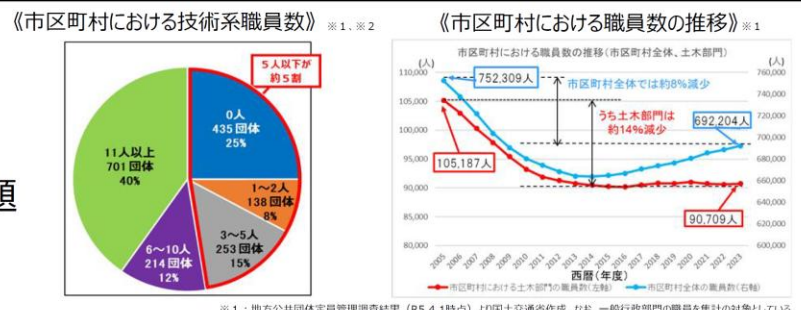
資料:R6.2 ヒアリング結果

2-5. 連携協力道路制度(令和7年改正) 一制度概要一

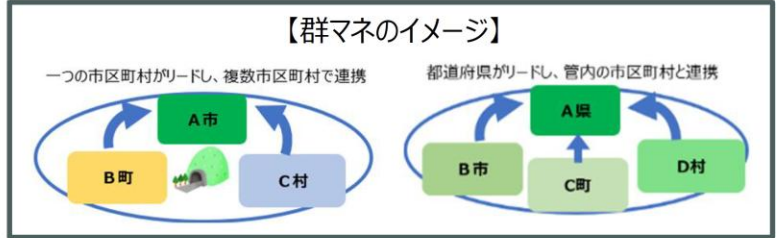
○ 市町村における技術系職員の減少等に対応し、効率的な道路管理を実現するため、道路管理者間の協議により道路の点検や修繕等を他自治体が代行できる制度（**連携協力道路制度**）を創設

背景・必要性

- 建設後50年以上を経過する道路橋やトンネルの割合は加速度的に増加
- **市区町村の技術系職員の減少が顕在化**
- 道路が災害発生時も含めて機能を発揮するための持続的なインフラ管理が課題



- 広域・複数・多分野のインフラを「群」として捉え、戦略的にマネジメントする「**地域インフラ群再生戦略マネジメント(群マネ)**」の取組が進められている
- ・ 令和5年12月には11地域40自治体が群マネモデル地域として選定
- ・ 338自治体が包括的民間委託の導入の意向等がある



- 複数市区町村で効率的な維持管理や修繕等を進めるにあたっては、足場の占用、巡回での落下物の処理、放置車両の移動等において、**別途、本来道路管理者の意思決定が必要**



改正概要

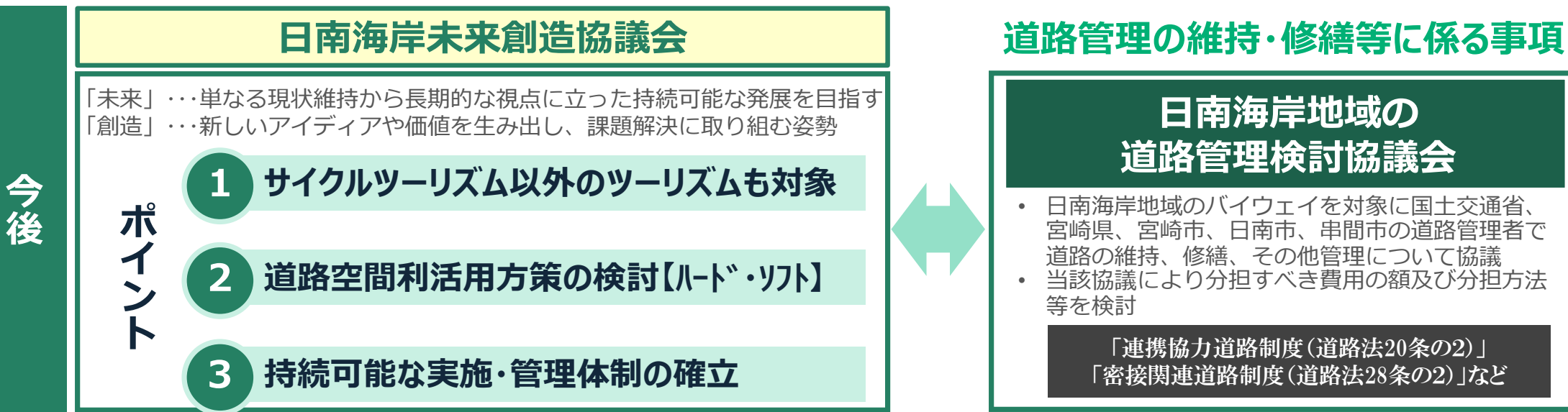
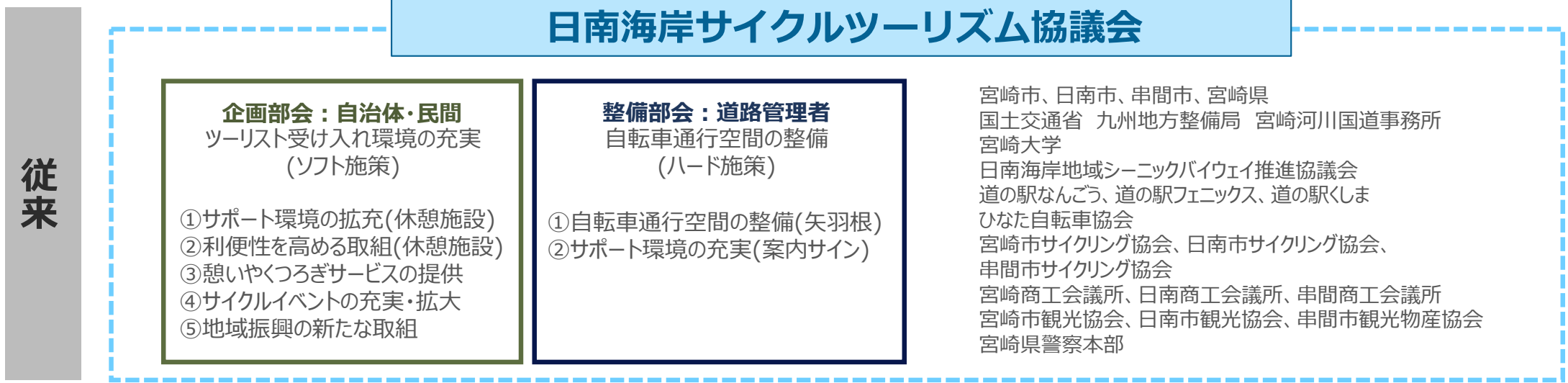
連携協力道路制度の創設

- ・ 隣接し、又は近接する二以上の市区町村の区域に存する道路について、関係する複数の道路管理者が協議して別にその管理の方法を定めることにより、当該道路の道路管理者以外の道路管理者が維持、修繕その他の管理を行うことができることとする
- ・ 当該協議により分担すべき費用の額及び分担方法を定めることができることとする

3. 今後の検討方針・協議会のあり方<第1号議案>



3-1. 今後の方針

- 従来のサイクルツーリズム協議会における取組み経緯等を再確認した上で、**日南海岸地域での持続可能な地域活性化方策・道路活用・道路管理等を包括的に検討**することが求められる。
- 「日南海岸地域サイクルツーリズム協議会」を**サイクルツーリズム及び多分野を含む内容を検討**する協議会へ進化させ、**道路管理の維持・修繕等の持続可能な管理のあり方**については「日南海岸地域の道路管理検討協議会」にて検討する。



3-2.日南海岸未来創造協議会への進化

- 「日南海岸未来創造協議会」では、**サイクルツーリズム及び他分野の多岐にわたる課題に対する取組み実施**に向けて、道路管理者と民間団体が協働して、具体的内容の検討を行う。

	日南海岸サイクルツーリズム協議会	日南海岸未来創造協議会		
目的	日南海岸サイクルツーリズムの利便性向上、賑わいの創出を目的とし、設立（協議会、作業部会としての企画部会、整備部会を組織）	日南海岸地域における賑わい創出を目指し、 各種ツーリズムの活性による地域活性 を図り、 地域の魅力向上 を目的とする。		
検討事項	<p>各部会（企画部会・整備部会）検討事項の審議</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> <p style="text-align: center;">日南海岸サイクルツーリズム協議会 年1回開催</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <p>企画部会：自治体・民間 ツーリスト受け入れ環境の充実 【ソフト施策】</p> <p>▼検討事項 サポート環境拡充（休憩施設） 利便性を高める取組 憩いやくつろぎサービス提供 サイクルイベントの充実・拡大 地域振興の新たな取組</p> <p style="text-align: right;">年1回開催</p> </td> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <p>整備部会：道路管理者 自転車通行空間の整備 【ハード施策】</p> <p>▼検討事項 自転車通行空間の整備（矢羽根） 利用環境の充実（案内サイン）</p> <p style="text-align: right;">年1回開催</p> </td> </tr> </table> </div> 	<p>企画部会：自治体・民間 ツーリスト受け入れ環境の充実 【ソフト施策】</p> <p>▼検討事項 サポート環境拡充（休憩施設） 利便性を高める取組 憩いやくつろぎサービス提供 サイクルイベントの充実・拡大 地域振興の新たな取組</p> <p style="text-align: right;">年1回開催</p>	<p>整備部会：道路管理者 自転車通行空間の整備 【ハード施策】</p> <p>▼検討事項 自転車通行空間の整備（矢羽根） 利用環境の充実（案内サイン）</p> <p style="text-align: right;">年1回開催</p>	<p>① サイクルツーリズム以外も含めた、日南海岸地域の地域活性化に向けた具体的取組み内容の検討</p> <p>② 道路管理者は当該地域の地域特性、交通特性等を考慮した上で持続可能な道路管理のあり方を検討</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> <p style="text-align: center;">日南海岸未来創造協議会 ・必要に応じて適宜開催</p> <p>必要に応じ働きかけ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> <p style="text-align: center;">作業部会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議題は状況を踏まえ適宜設定 ・内容に応じてメンバー選出 ・企画グループ、整備グループ <p>⇒より柔軟な会議開催を実現</p> </div> </div> 
<p>企画部会：自治体・民間 ツーリスト受け入れ環境の充実 【ソフト施策】</p> <p>▼検討事項 サポート環境拡充（休憩施設） 利便性を高める取組 憩いやくつろぎサービス提供 サイクルイベントの充実・拡大 地域振興の新たな取組</p> <p style="text-align: right;">年1回開催</p>	<p>整備部会：道路管理者 自転車通行空間の整備 【ハード施策】</p> <p>▼検討事項 自転車通行空間の整備（矢羽根） 利用環境の充実（案内サイン）</p> <p style="text-align: right;">年1回開催</p>			
構成員	<p>●事務局：日南市</p> <p>宮崎市、日南市、串間市、宮崎県 宮崎河川国道事務所、宮崎大学 日南海岸地域シーニックバイウェイ推進協議会 道の駅なんごう、道の駅フェニックス 宮崎県サイクリング協会 宮崎市サイクリング協会、日南市サイクリング協会、 串間市サイクリング協会 宮崎商工会議所、日南商工会議所、串間商工会議所 宮崎市観光協会、日南市観光協会、串間市観光物産協会 宮崎県警察本部</p>	<p>●事務局：日南市 赤字：協議会委員</p> <p>宮崎市、日南市、串間市、宮崎県 宮崎河川国道事務所、宮崎大学 日南海岸地域シーニックバイウェイ推進協議会 道の駅なんごう、道の駅フェニックス 宮崎県サイクリング協会 宮崎市サイクリング協会、日南市サイクリング協会、 串間市サイクリング協会 宮崎商工会議所、日南商工会議所、串間商工会議所 宮崎市観光協会、日南市観光協会、串間市観光物産協会 宮崎県警察本部</p>		

3-3. 日南海岸未来創造協議会 作業部会開催イメージ

● 日南海岸未来創造協議会「作業部会」において、「企画グループ」にて**ソフト施策**に関する検討を行い、**ツーリスト受け入れ環境の充実**を図り、「整備グループ」では、**ハード施策**を中心に、**道路環境の快適性向上及び空間利活用**などに関する取組み実施に向けて検討を行う。

作業部会	企画グループ	整備グループ
<p>目的</p>	<ul style="list-style-type: none"> 日南海岸地域における賑わい創出を目的とし、サイクルツーリズムを核としつつ、他分野のツーリズムも含めた受入環境の充実や地域資源の活用方策を検討すること 	<ul style="list-style-type: none"> 日南海岸地域における安全で快適な移動環境の確保を目的とし、道路利用の基盤となる自転車通行空間の整備および道路空間の利活用方策を検討すること
<p>対象</p>	<ul style="list-style-type: none"> 日南海岸地域全体 観光資源 	<ul style="list-style-type: none"> 日南海岸地域の道路ネットワーク 自転車通行空間・道路附属施設
<p>構成員</p>	<ul style="list-style-type: none"> 現在の企画部会メンバー 必要に応じて民間事業者・有識者などを追加 	<ul style="list-style-type: none"> 現在の整備部会メンバー 必要に応じて警察・関係団体・有識者などを追加
<p>協議事項 (案)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 受入環境の充実 <ul style="list-style-type: none"> サポート環境拡充（休憩・宿泊施設等） 利便性を高める取組（レンタサイクル等） 体験価値・サービスの向上 <ul style="list-style-type: none"> 憩いやくつろぎサービスの提供（滞在性向上） ツーリズムイベントの充実・拡大 地域振興・観光展開 <ul style="list-style-type: none"> ツーリズム（ドライブ・食・体験等）間の連携 地域資源を活用した新たな観光施策 誘客促進・情報発信（マップ、Web、SNS） 	<ul style="list-style-type: none"> 道路利用の基盤整備 <ul style="list-style-type: none"> 自転車通行空間の整備（矢羽根、路面標示等） 利用環境の充実（案内サイン、ルート誘導） 安全性・走行環境の向上 <ul style="list-style-type: none"> 危険箇所対策（交差点、山間部等） 快適な走行環境の確保 道路空間の利活用 ※道路管理検討協議会との連携 <ul style="list-style-type: none"> バイウェイ区間の利活用 自転車以外の利用も考慮した空間再編